

絆

三里分校の思い出



閉校記念誌

平成26年3月31日
太良町立 多良小学校 三里分校

三里分校の思い出 | 閉校記念誌 |

平成26年3月31日 太良町立多良小学校三里分校



Everyone's memories

絆

三里分校の思い出



閉校記念誌

平成26年3月31日

太良町立 多良小学校 三里分校

多良小学校校歌

山の子の歌

一 西空高く そびえたつ
わが多良岳よ 恵みの山よ
朝夕を仰ぎ 心きおいて
すなおなる 心みがかむ

一 歌声が あの小道に
響けば
あの森かげ あの谷間
山びこの歌

三 雲がさり 青いみ空が
見られりや
歌いましょう 山鳩の
兄と妹

二 東に広く たたえたる

有明海よ 海幸さわに

朝夕のぞみ 相はげまして
ひたすらに 学び遊ばん

二 雨がふり てるてる坊主が
泣いても
わたしたちは 泣かないで
山を見ている
山の子は 山の子は
みんな強いよ

四 星の子が 峠の杉に
合図して
早く帰れよ 母がらす
子どもが待っている
山の子は 山の子は
明日もしあわせ
明日もしあわせ
明日もしあわせ

三 めぐみ足らいし 豊足ゆたたりの

その名を負いて われらが祖先みおや
ひらきたまえる この太良町を
ひとすじに われら育てむ

山の子は 山の子は
みんな強いよ

山の子は 山の子は
明日もしあわせ
明日もしあわせ
明日もしあわせ

もくじ

ごあいさつ	4
思い出の校舎	8
思い出のアルバム	10
〃 アルバムⅠ (我らの分校、今昔)	10
〃 アルバムⅡ (あつまれ！三里っ子！)	14
〃 アルバムⅢ (楽しかった、あのとき)	20
〃 アルバムⅣ (最後の年の子ども達)	32
思い出の手紙	33
〃 紙Ⅰ (恩師の方々から)	33
〃 紙Ⅱ (分校卒業生から)	39
〃 紙Ⅲ (小・中・高校生から)	43
三里分校資料	49
あとがき	

三里分校閉校にあたり

太良町長 岩島 正 昭

三里分校の開校は、明治十三年に三里の廃寺であった、「西方院」の庵堂を教場として、三里・嘉瀬ノ坂・板ノ坂、御手水の児童を集めて、分校教育が始められました。その後、明治三十八年板ノ坂に三里分教場が新築移転され、そして、昭和二十五年現在の場所に新築移転して今日に至っている所でございます。開校から百三十四年という長い歴史と輝かしい伝統の中に、三里地区の子ども達の勉強や遊びの場があり、教育の基礎を培った、豊かな自然に恵まれた、素晴らしい教育環境でありました。また、多くの地域の人々の抛り所であり、支えとなってきた分校ですが、近年の少子高齢化により、太良町に限らず、過疎地域や都市部においても、全国的に児童生徒の数が減少している状況であり、唯一の分校を閉校することは、時代の流れと言え、悲しさや寂しさを感じる思いです。

三里分校は、開校以来、明治・大正・昭和・平成と、激動の四つの時代を耐えて生き抜いてきました。様々な時代において、子ども達の学べる喜びや友達との楽しい思い出を、見守り・育んできました。この間、数多くの分校卒業生が巣立って行き、昭和三十二年度の、三里分校児童数六十二名をピークに児童数が減少してきましたが、多くの卒業生は、地元の三里地区や町内に残り、地区や町の発展に積極的な力を注いでいます。また、県内外で顕著な活躍をされるなど、世の中の大きな期待に応えて頂いているものと思います。三里分校で育った多

時の流れが

太良町教育委員会 教育長 松尾 雅 晴

佐賀県内、平成二十四年、二十五年と唐津市、多久市、玄海町と小中学校の統廃合が相次ぎました。太良町においても、中尾分校の閉校と共に、町内で唯一残されていた三里分校もその俎上もとじょうにあり、今日までできましたが、とうとう今日閉校という日を迎えることになりました。

多良小学校は、本年度で創立百三十七年目を迎えました。社会の変化と共に、数々の歴史の足跡を残してきました。その一つが分校の姿であると思います。

明治政府は、アメリカ、ヨーロッパ諸国の近代国家の姿を目の当たりにし、欧米諸国と肩を並べるには、教育の充実を痛感し、全国各地に学校を作るよう学校制度を整えました。

多良においては、明治六年に多良小学校の前身である知新小學校が開設され、それから七年目の明治十三年には三里分教場を開設するという熱意がありました。それから今日まで百三十四年の歴史を刻んできたことになりました。

こうした、明治の先人達が「この国のかたち」を作り上げる苦労は大変なものだったと考えられます。また、一世紀以上に及ぶ間、教師、保護者、地区の皆さん方の三里分校に対するご苦労があったからこそ、今日まで存続できたことに感謝を申し上げます。

閉校当時の子どもたちは、どんな服装で登校し、どんな教科書を持ち、どんな思いで学び、遊んでいたのかと思います。

くの児童の学業や遊び、そして、数多くの体験・経験によって素晴らしい、人格形成がなされたものと思います。自然豊かな地で、三里分校の果たしてきた役割を表現するのは、大変難しいものと思います。これまでの地域への貢献に対し心から「三里分校、ありがとう、感謝の気持ちで一杯です」と大きな声で、多くの人に伝えたいと思います。

本日を持ちまして、三里分校は地域や保護者の総意により、閉校となりますが、跡地の活用につきましては、三里分校の歴史と伝統が絶えることなく、地区住民のご意見・要望等を踏まえながら、次代に応じた跡地の活用に努めたいと考えています。

終わりに、三里分校の輝かしい歴史と伝統は、太良町の誇りであり、代々培われた三里分校の校風を現在に引き継いでこられた、児童の皆さんのたゆまぬ努力と、歴代校長先生を始め教職員の皆様の熱い情熱、更には、地域や保護者の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物であり、心から敬意と感謝を申し上げます。三里分校の思い出が、永遠に皆様の心に深く刻まれますとともに、三里分校関係地区の今後ますますのご発展を、心よりご祈念申し上げご挨拶いたします。

す。便利な世の中になり、交通手段の車ひとつ取っても、当時の人々のご苦労がわかります。

明治、大正、昭和、平成とそれぞれの時代に対応し、子どもたちを育んできた教室、運動場、またその指導にあたってこられた先輩の先生方の想いが染み込んでいることでしょう。

三里分校が地区の中心となり、教師も地区の一員に溶け込み、分校の子どもたちの一日の様子が手に取るように、地区に家庭に伝わった時代はもはや、懐かしい思い出となり、帰らぬものとなりました。少子化の時代の流れは容赦なく、三里分校もその流れにあらがえず閉校の運びとなりました。

このことにより、

伊福分校が昭和四十一年三月に、

中山分校が昭和五十六年三月に、

中尾分校が平成二十一年三月に、

三里分校が平成二十六年本日をもって閉校となり、多良小

学校の四つの分校すべてが閉校となりました。

開設された当時の方々のご尽力と、今日まで綿々とその精神を引き継いでこられた皆様方に厚く感謝致します。と同時に、これから改たなスタートとなります多良小学校の力強い歩みを期待し、私どもも町民の皆さんのご期待に添うべく努力していく所存であります。

三里分校の絆

三里分校閉校実行委員長 **池田 富康**

三里分校は、明治十三年に廃寺となった西方院の庵堂を教場として、三里、嘉瀬ノ坂、板ノ坂、御手水の四集落の児童を集めて教育が始まっております。したがって、開校から今日まで明治、大正、昭和、平成と実に百三十四年の長い年月にわたって、地域の子供たちを育てて参りました。

教育の場として、山間地域の分校ほど理想の教育環境は無いと思います。みどりの少年団の立派な実践活動が何よりの生きた証拠だからです。

三里分校は、明治二十二年多良、糸岐両村合併により、多良小学校は畑田に新築されて、廃校となった糸岐小学校の古材を使って校舎を建設、分校らしい体裁が整ったようです。さらに、年月を経て昭和二十五年に新校舎に移転、昭和二十七年、同三十年と二回にわたって運動場を拡張、昭和五十八年に校舎を全面的に改築し、翌年、職員住宅を解体して、地区の青少年の健全育成の施設として、「みどりの家」が建てられました。

この間、用地の買収や造成、校舎建設資材の搬入など地区民がこぞって力を合わせ、粉骨碎身の努力を重ねられており、その御苦労振りは筆舌につくせるものではございませんが、太良町誌中巻、下巻にも詳細に記されております。

農林業を先祖から受け継いで生活を守って来た地区民にとって、この多良岳山系の大自然は「ゆたかりの里」を守り育てて来てくれました。この三里分校で学んできた者にとつて、学舎を閉校にすることは大変寂しいことです。しかし、少子・高齢化が進み、年毎に児童が減ってしまいました。何とかならない

三里分校閉校式に思う

太良町立多良小学校 校長 **森山 宗治**

多良小学校で唯一存続してきた三里分校が、残念ながら児童数の減少のため閉校式を迎えることになりました。分校の歴史・伝統を知る地元の方々には、非常に苦しい選択であったと拝察されます。

私は、校長として三里分校を見てきたこの一年は、山間へき地の実態やその役割、少人数指導や複式学級指導の難しさや良さ、指導に励む担任や生き生きと学ぶ子どもの姿を見るにつけ、教育の原点を感じましたし、さらには、地域・保護者の皆様の分校への思いも感じることができ、大きな宝となりました。しかし、このような素晴らしい三里分校の閉校の場に立ちあわねばならないのは、とても残念でなりません。

三里分校の大きな特徴は、子ども達の個性を大事にしながら、学力面の細やかな指導と共に、自然の恵みを生かした体験活動の展開が意図されてきたことです。少人数だからこそできる児童の実態に応じた学力の伸長、分校が一体となる活動により、責任感や連帯感の意識を育てることができました。また、豊かな心や地域を思う郷土愛の育成、感性の醸成に大きな力となってきたと信じます。体験活動は、温かい入校式に始まり、ふるさと農園での野菜の栽培、箸ほりや学習発表会、親子での分校清掃の後のそうめん流し、餅つき会など多彩なものでした。子ども達は、人と地域に支えられた体験活動を通して生き生きと学び、たくましく、着実に成長を重ねてきました。

少人数で学ぶ場は、教師と児童の相互理解を深め、長い三里分校の歴史の中で、温かい交流と感動が続いてきたと想像され

ものかと思案はしても、時代の流れをヒシツとくい止める術は持ち合わせておりません。かつて四十人、五十人と机を並べて学んでいた頃からは、とても想像もつかぬ減少ですが、これが現実です。そして、閉校に当たって挨拶する寂しさを禁じ得ません。

わたしは、四集落の中で嘉瀬ノ坂の区長です。みどりの家に限らず、古い校舎も夜になれば「読み、書き、そろばん」をはじめとして、青年宿として先輩から受け継いでいた若いときの思い出は、私にとっては生徒として分校に通った時に劣らない良い思い出だし、大きな宝だと思っています。

中尾分校も、今、立派に活用されておりませんが、私どもも連絡を取り合いながら、町おこしの新たな出発となるように、協同の絆を強くし、努力することを誓います。

本日まで、三里分校を身を粉にして、優しく支えて来られた多くの先生方、太良町当局や関係者の方々に心から感謝して挨拶いたします。



ます。

さて、三里分校は明治十三年の設立以来、教育実績も着実にあげてきました。昭和二十七年には、郡の小さな学校研究指定校となり研究を進め、昭和三十六年には、「複式カリキュラム」推進研究発表、昭和六十年の九州地区へき地教育研究大会佐賀大会での分科会発表、同年には、学習研究社「教育賞」を受賞しました。昭和六十三年沖縄大会でも課題別分科会で発表し、平成五年には、九州地区へき地教育研究大会佐賀大会を兼ね、文部省・県・町指定「へき地教育」研究発表を行い生活科や理科研究を深めました。

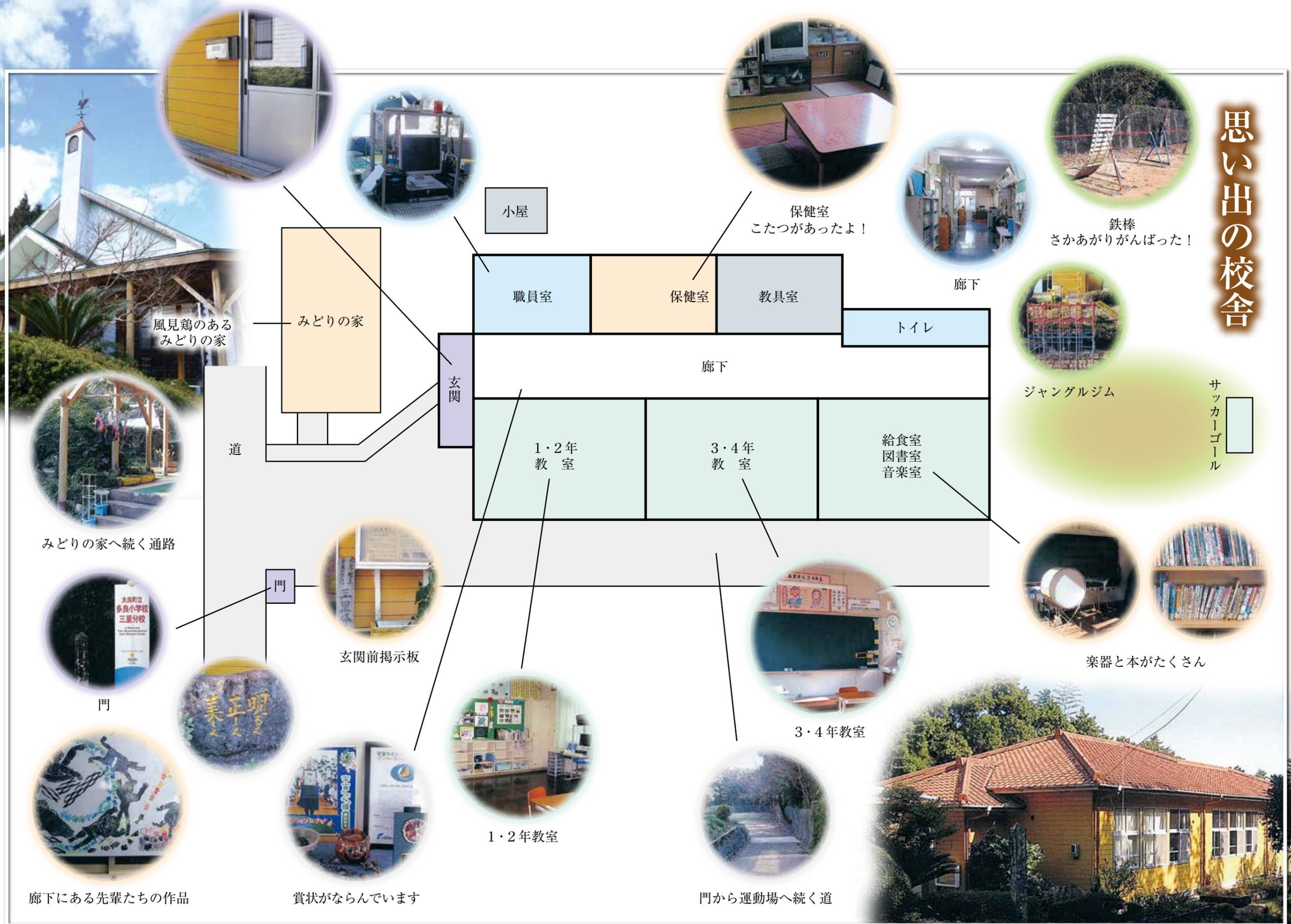
子ども達も活躍し、平成十年「ふるさとさが探検隊」優秀賞受賞、三里みどりの少年団としても、平成十一年には和歌山県、平成二十二年の青森県の全国大会での発表では、「優良賞」を受賞しました。絵画や作文の受賞も多く、校内に掲示される版面も目を引きます。これらを見ても、担任と子ども達が一体となって取り組む姿が目に見え、分校だからこそできたことが多かったと思われまます。

明治十三年から続く歴史と伝統を持つ三里分校は閉校しますが、分校と共に歩んで来た五地区の豊かな自然と人々の繋がりは、今後も強く引き継がれることでしょう。

四月からは、多良小学校本校だけとなりますが、これからも教職員一丸となって、校区全ての子ども達の教育に全力で取り組み、家庭や地域の皆様方のご期待に添えるよう努めていく所存です。これまでの「三里分校」への温かいご支援に衷心より感謝しますと共に、お礼申し上げます。

三里分校、お役目ご苦労様でした。百三十四年間ありがとうございました。

思い出の校舎



我らの分校、今昔

平成二十六年三月三十一日をもって、

百三十四年の歴史と伝統を誇る

三里分校が、静かに幕を下ろします。



明治十三年

糸岐小学校の分校として、廃寺であった「西方院」に、三里・板の坂・嘉瀬の坂・御手水を学区とした教場が創立される。(糸岐村議事録による)



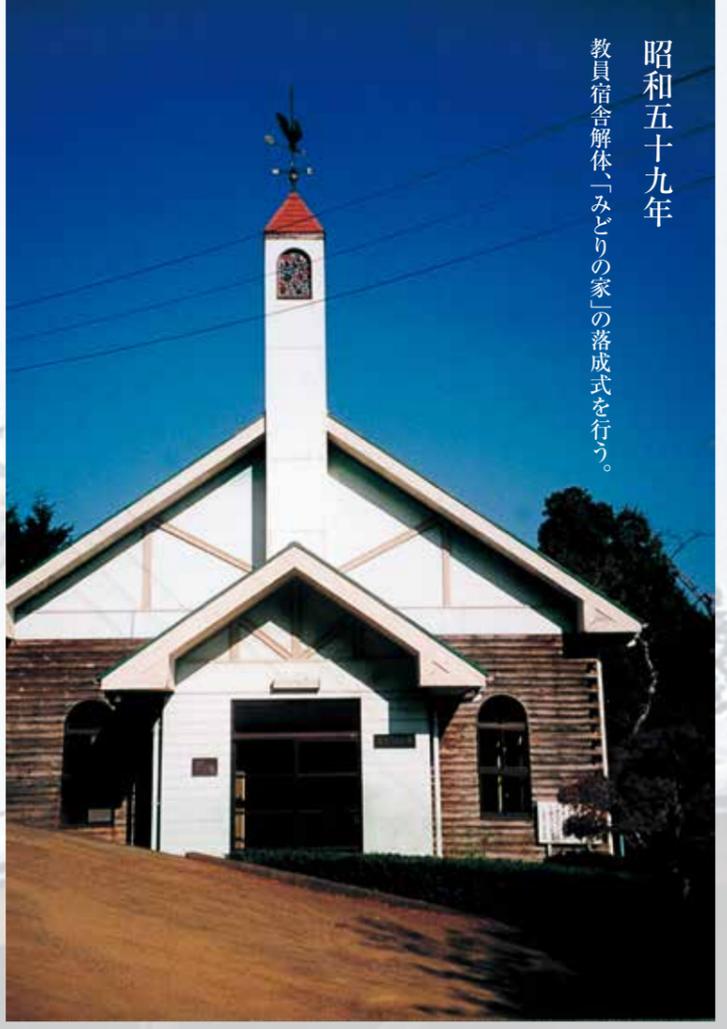
昭和三十年

運動場の拡張、ブランコ・滑り台・倉庫が建設される。



昭和五十九年

教員宿舎解体、「みどりの家」の落成式を行う。



あつまれ！
三里っ子！



昭和46年4月 育友会



昭和49年8月 育友会旅行



昭和51年 入学式、新しいお友達がふえました。



昭和43年

ブランコ、鉄棒の新設(入替)。分校完全給食開始。



昭和40年4月 入学式



昭和42年 修学旅行



平成元年 歓送迎会



昭和63年 入学式



昭和62年 歓送会記念



平成6年 入学式



平成2年 入学式



平成8年 入学式



平成7年 入学式



昭和61年 中尾分校と一緒に



昭和55年4月 松本先生送別会



昭和53年4月 入学式



昭和61年 育友会



昭和57年3月 中島先生送別会



平成19年 学習発表会



平成15年 入学式



平成11年 佐賀県立宇宙科学館見学



平成24年 入学式



平成23年 入学式



平成25年 入学式



平成10年 入学式



平成9年 入学式



平成14年 入学式



平成13年 英語教室

楽しかったとき……



昭和41年 入学時



昭和40年 PTA親子旅行



昭和39年
風配遠足



昭和42年 中山・中尾・三里交流会



昭和42年 神野公園へ修学旅行



昭和46年頃 修学旅行



昭和44年 修学旅行



昭和40年 PTA親子旅行



昭和37年 学芸会



昭和60年 かかし作り



昭和46年 ソフトボール準優勝



昭和40年 3・4年合唱



昭和40年頃入学式



平成元年 竹馬あそび



平成元年 入学式



平成2年 修学旅行



平成2年 昼休み



平成元年 春遠足



平成3年 田植え



昭和62年 雪の日



昭和61年 こいのぼり



昭和63年 ジャンゲルジム



昭和62年 プール開き



平成7年 そうめん流し



平成5年 九州へき地教育研究大会



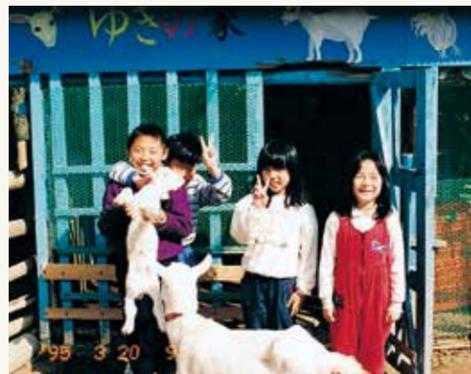
平成5年 へき地教育研究発表



平成6年 凧作り



平成7年 ひなまつり



平成7年 やぎ(ゆきの家)と一緒に



平成3年 入学式



平成3年 焼き物教室



平成3年 ボランティアごみ拾い



平成3年 キャンプ



平成4年 ぼくのわたしの体づくり



平成10年 ふるさと「さが」探険隊 優秀賞 受賞



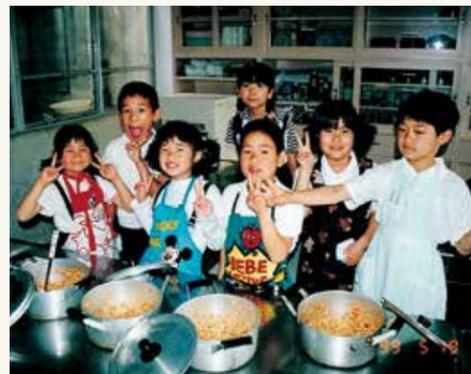
平成8年 集合写真



平成10年 町報表紙に掲載されました

「いーものうつしちゃった」
Collection No.4

総合学習『わくわくタイム』の時間を利用して、三里分校の児童たちが炭づくりに挑戦。「炭作りをしてみたい」という子供たちからの要望が始めるきっかけとなりました。この炭は、バーベキューをする時に使われるそうです。



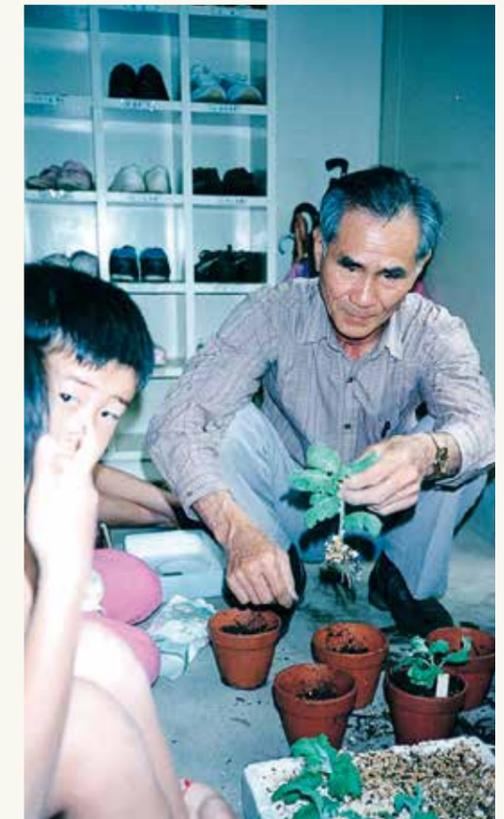
平成11年 調理実習



平成8年 緑の少年団



平成9年 お茶炒り



平成7年 西村先生と菊作り



平成18年 御手水地区の射り



平成12年 集合写真



平成20年 一年生植樹



平成19年 本校1の1との交流



平成20年 スイカの収穫



平成11年 たけのこ煮しめ



平成11年 竹とんぼ作り



平成14年 もちつき



平成13年 英語教室



平成23年 宇宙かぼちゃ参加証



平成20年 ゆき遊び



平成22年 七夕



平成21年 こいのぼり



平成22年 奉仕作業



平成22年 こんにゃく作り



平成21年 もちつき



平成21年 たけのご掘り

二〇一三年度

最後の年の子ども達



平成25年 集合写真 左から、萌花(3年)歩武(1年)心葉(4年)



平成25年4月 奉仕作業



平成25年7月 七夕



平成25年4月 わらび採り



平成25年6月 わくわく農園



平成26年1月 御手水地区的射り



平成25年8月 緑の少年団活動発表会 優秀賞



平成25年7月 学習発表会

思い出の手紙Ⅰ

恩師の方々から



- 荒木 正子
- 石井 みち子
- 小柳 政文
- 池田 良治
- 中原 真平
- 押方 富美子
- 橋本 幸雄
- 益田 信亮
- 前田 友子
- 白仁田 和世

永久に輝く三里分校

昭和三十二年度～昭和三十三年度 荒木正子

町立多良小学校三里分校の閉校をお聞きして、寂しくも思いますが、少子高齢化の時代の流れでしょうか。

明治十三年開設から現在の三名の児童に至るまでの、子どもたちの素晴らしい活躍は、地域の私たちも勇気づけられ、これも偏に先生方日々の精進、熱意の賜物だと感謝致します。

私は五十年前になりますが、三里分校で勤務させていただきました。当時は、昭和三十二年度に六十二名、三十三年度に五十五名の児童がおりましたので、大浦里地区在住だった池田博康先生、津ノ浦在住だった宮崎トミ先生、そして私の三名の教員が勤務しておりました。トミ先生は、バイクで休石までこられ、藤浪さん宅にバイクを預けて、そこから三人で道なき道を歩きます。七時前頃から池田先生を先頭に学習用具、弁当を持って、朝露をばらばら、蜘蛛の巣をばらばらから一時間くらい登って、元氣いっぱい個性豊かな可愛い宝子の待つ三里分校に届きます。岩の隙間からきれいな命の水が湧き出てくる御手水部落を通る車道がありますが、そこを登れば一時間三十分は要しますので、一時間で着く道なき道を歩きました。

天候に恵まれた夏は、涼しくなつてから、早崎先生と平坂ユリ先生が勤務されておられた中尾分校でテニスを楽しんだ思いが浮かんできません。当時の宮崎貞治校長先生は何回となくおいでになりました。虫に刺されないように足にはゲートルを巻いて、腰には弁当を付けてでしたが、二十五年の七月一〇四才で他界されました。先生方のご冥福をお祈りいたします。

大自然に囲まれ、空気のおいしい三里分校区。

嘉瀬ノ坂、板ノ坂、三里、御手水、風配地区の皆様方の益々の御発展を御祈念申し上げます。

大変お世話になり、ありがとうございました。

思い出

昭和五十九年度～昭和六十一年度 石井みち子

三里分校が閉校になることになり、とてもさびしい思いがしています。転勤してすぐに三里分校に行くことになり、母校とはいえ、本校の先生方にも慣れず、とても不安だったことが思い出されます。でも、一年から四年までの少人数で、複式には少しとまどいましたが、素直な子ども達と過ごしていくうちに不安はふつとんでいきました。また保護者の方や地域の方が、とても協力的で、何かにつけては分校に集まり、色んなことを教えていただきました。子ども達だけでなく、私も色んなことを教えていただきました。

楽しかった思い出もたくさんありますが、一番初めにびっくりしたことは、分校の子どもたちの会話が方言ではなく、テレビから聞こえる、あの標準語に近かったこと。「うしろよよ。」「くだよ。」よくよく聞いてみると、テレビが子守りだつたような話で、納得でした。初めて聞いた「山びこの歌」にとっても感動したこと、今でも時々口から出てきます。お茶つみ、お茶もみ体験もしました。校舎の横に小さな畑を作り、新宮おばさんに作り方を教えてもらっているような野菜を作ったこと。へちまとひょうたんを一緒に植えて、ひょうたんの形のへちまができたこともありました。寒い時は途中の道が凍つておそろしい思いをしました。反対に校門の坂をすべったりして楽しんでりと自然の中で思いきり過ごすことができました。

たくさんさんの思い出をありがとうございました。三里分校はなくなっても思い出はずっと残っています。

三里分校の思い出は心の中に

昭和六十一年度～昭和六十三年度 小柳政文

私は三里分校に三年間お世話になりましたが、本年度で閉校と聞き時代の趨勢には抗えない一抹の寂しさを感じています。

勤めたのは、もう三十年近くも前でしたので、その頃発行していた分校通信『やまびこ』を繙解してみました。三年目の通信には、子ども達の心を見つめながら、学校生活の様子や行事の数々、その時々の様子や思いが書き連ねられていて、毎日を実に楽しく生き生きと過ごしていたことが記されていました。

みどりの家・赤電話・笑顔の子ども達・山の子の歌・釜炒り茶・山菜・防火用水での水泳・複式・協力的な保護者・中尾分校との合同授業・本校での発表会等々。特に、三年目は昭和から平成に変わっていった年でもあり、分校で過ごした数々の言葉が踊り、思い出は私自身の忘れたい宝物となっています。

教育の原点はへき地教育にある。「小さな学校」の研究会ではよく耳にした言葉ですが、私の教職人生にとっても大きな土台になりました。特に、何も分からず過ごした新採の離島勤務でできなかったことをやりたいという強い思いもあり力を注いでいった覚えがあります。その様な思いに一生懸命応えようと頑張ってくれた、一人一人個性的で素敵なお子とも達の姿は今でも瞳を閉じれば浮かび上がってきます。

最後になりますが、分校を心から愛し、自分たちでよければと様々な行事で献身的に協力し応援してくださった保護者の皆様方には心から感謝をしています。分校がなくなるのは残念でなりません、永遠に私の心の中に生き続けることでしょう。

頑張る子どもたち

平成元年度～平成二年度 池田良治

平成元年度より三里分校に赴任しました。三年生一人、四年生三人の複式学級です。学習指導をどう盛り上げていけるのか、心配しながらのスタートでした。しかし、子どもたちは学習にも熱心に取り組みます。発表も活発になり、楽しく学習が進められるようになりました。一人ひとりが様々な考えで追及できるようになり、学習も盛り上がってきました。三年生は一人なので、私の方から質問し、素晴らしい考えをたくさん見つけていきました。時々分校に来校される校長先生は、授業を参観して、子どもたち一人ひとりの素晴らしい考えをたくさん見つけ、お褒めの言葉をかけてくださいました。子どもたちは自信に満ち、学習も大きく盛り上がっていました。このことが好影響を及ぼし、スケッチ大会や読書感想文など、いろいろな大会にもたくさん入賞することができました。

掃除の時間には、三、四年生がリードして仕事を進め、一、二年生にいろいろと教えてくれる姿も見られました。校内縄跳び大会に向けた練習では、怖がる一年生をやさしく指導し、うまく跳べるように教えてくれました。

このような素晴らしい子どもたちの姿は、分校という学習環境によってもたらされたものだと思います。しかし、三里分校も閉校です。寂しい限りですが、ここで楽しく元気に頑張ったことに誇りをもって、今後を精一杯頑張りたいと願っています。

豊かな自然と人々の優しさ

平成五年度～平成七年度 中原 真平

「秋風だ 森のダンスのはじまりだ」

この句は、当時二年生だった児童の作品です。風や光を感じて過ごしていたからこそできる秀作です。こんな豊かな感性を引き出すことのできる「三里分校」が平成二十五年度をもって閉校するのは、時代の流れとはいえさみしさが募るばかりです。

当時の思い出は数限りなくあります。春に開かれた地域との歓送迎会。昼の十二時に始まり、夜の十二時まで続いたときはびつくりしました。筍の刺身、本当においしかったです。ありがとうございました。地域のお年寄りの知恵と優しさを学んだ「ふるさとの会」。やまびこの歌を大きな声を張り上げて歌い歓迎していた子どもたちの姿は今でも目に焼き付いています。その後、池田おばさんが作ってくださったカレーライスのおいしさは抜群でした。裏にあった小川での魚釣り。初めて釣ったハヤにおどろいていた子どもたちの笑顔。山羊の「ぶひひ」に襲われて泣いていた女の子もいました。九州へき地教育研究大会では、見事な浮立を演じ、大きな喝さいをあびたことも忘れられません。お土産だった竹の器作りには、保護者の方々が惜しみない協力をしてくださいました。その思いが今になって少し分かってきました。

分校は豊かな自然と温かい人々の心に包まれた場所でした。子どもたちも役割を与えられ、責任と自覚をもって暮らしていました。多くの子どもたちに、豊かな心を育んでくれた「三里分校」。本当にありがとうございます。

ありがとう、三里分校

平成六年度～平成九年度 押方 富美子

鳥の鳴き声、桜の花びらのおい、暖かな日差し。あの小さな教室から今にも子どもたちの笑い声が聞こえてきそうです。おばさんが、草を取る手を休めてお茶を入れて下さりそうです。三里分校といえれば私にとって懐かしい故郷のような場所です。

私は、一年生と二年生の複式学級を担任していました。教室には黒板が二つあり、一つの教室で二年生と一緒に学習をしていました。傑作なのは二年生の九九を、引き算の勉強をしているはずの一年生が唱えたり、二年生が一年生の音読の間違いを訂正したりと、別々の学習をしているはずがいつの間にか授業に加わり、楽しい中にも複式指導の難しさを感じたものでした。当時は、七、九名の子どもたちが在籍していました。少ない人数でしたが、兄弟のように仲が良く、放送や掃除など何をするにも協力し合い頑張っていました。特に四年生は最上級生として頼もしかった事を覚えています。

総合的な学習の時間や生活科の学習は、みんなで取り組みました。「鍋っ子遠足」では、どんな鍋料理があるのか調べ、材料を買いに行き、鍋や材料を背負って健康の森まで歩き、水炊きを作りました。「お茶づくり」では、毎熊さんの畑で茶摘みをし、荒木さん津賀田さんの協力を得て大きな茶釜をつくり、釜炒り茶を作りました。「先生は、簡単に考えて…」と笑って言いながら、石や赤土、藁を運んで来て、本格的に釜をつくることに協力して下さって、お茶の炒り方、摘み方など教えていただきました。そして香りの良い渋めのお茶を味わう事ができました。子どもたちも、お茶を作った経験が劇にしたり絵本にまとめたりして生きた学習ができました。また、池田さんには、どんぐりの木にしたけの種駒を植えてほしい作りを教えて頂きました。地域の自然や、地域の方の知恵を活かしたユニークな教育実践を温かく見守り支えて頂き本当に感謝しております。子どもたちも、私たち教員も、保護者さんや地域の方に守られながら育てていただいたんだと実感しています。

歓送迎会、分校キャンプ、もちつき会の心のこもったおもてなしも忘れることができません。思い出深い三里分校。今後は姿を変えて地域の発展の中心として活用されることを願っています。「たくさん思い出をありがとう、三里分校。」

思い出多き 我が「三里分校」

平成八年度～平成十一年度 橋本 幸雄

「・・・山の子は山の子は 歌が好きだよ」

子供たちの笑顔が、走馬燈のようによみがえる。

押方先生、高稲先生と二年間、毎熊おばさんとは四年間一緒に過ごさせていただいた。転校生がいたために、二、三年生という複式も体験した。始業、終業を知らせるのは、押しボタンのベルや子どもたちの声。赴任した当初はチャイムが無く、ベルを一回一回押していた。授業が五分早くなったり遅くなったりと、子どもたちの理解度に応じた学習時間だった。

一番の思い出は、生活科と総合の時間に学習した「お茶」と「炭」である。「お茶」では、石や赤土を地区の方に分校まで運んでもらい、積み上げ方を手取り足取り指導していただき、見事に完成した。釜で炒るお茶の葉は、とても香りがよかつた。

「炭」では、畑で野焼きの炭作りを体験した。できた炭で消臭効果を確かめたりバーベキューで焼き鳥をほおぼったりもした。これらの活動をまとめた資料が、二年連続で県から表彰を受け、賞状と数万円の旅行券を副賞としていただいた。分校の子どもたちみんなと行った旅行は最高の思い出になった。

冬には雪が激しく、本校では雪らしい雪が見えない天候でも、分校は、辺り一面雪景色。静寂の中の銀世界は、今でもまぶたの奥にはつきりと映っている。セピア色した子どもたちの思い出の写真。閉校と共に、いつまでも思い出のアルバムの片隅に大切にしまっておきたい。

ありがとう！「三里分校」。思い出多き 我が「三里分校」

三里の子

平成十二年度～平成十四年度 益田 信亮

はじめに、今年度をもって三里分校が閉校を迎える事になったと聞き、非常に寂しく思っています。諸事情あつての事だと推察致します。三年間お世話になりましたことを深く感謝します。当時、多良小学校は総合的な学習の研究に取り組んでいました。自然豊かな三里地区だったのでいろいろな活動をする事ができました。「おばあちゃんの漬け物」というテーマで高稲先生と毎熊おばさんといろいろな漬け物作りにチャレンジしました。実際に子どもたちの家まで見学に行き、おばあさんから詳しく方法を教えてもらいました。個人的に大好物はショウガの味噌漬けです。これは絶品でした。他にも「野菜作りに挑戦」「草花・木を調べよう」「三里に残る古い物」「自然を守ろう看板作り」など、楽しく学習することができました。次に、印象に残っているのは地域のみなさんに非常にご協力頂いた事です。毎年春になると、子どもたちに筍掘りをさせて下さった北島さん、いつも分校に差し入れをして下さった荒木さん、分校の木に札を付ける活動を支援して下さいました津賀田さん、竹細工を教えて下さった徳永さん、それに子どもたちのご家族のみなさん：切がありませんね。本当にありがとうございます。今も時々当時の子どもたちと町でばったり会うことがあります。もう高校生や大学生、社会人です。当時のままの笑顔で少し大人びたあいさつをしてくれます。がんばれ、三里の子。

ありがとう三里分校

平成十六年度〜平成二十五年 度 前田友子

私は、長男が平成五年に入学してから平成十三年度まで保護者としてお世話になりました。その後分校を卒業し、平成十六年度より分校に用務員としてお世話になりました。

子供たちの保護者として行く時は、こんな家族みたいな学校があるのだからかと思うくらい先生、おばさんやお父さんお母さんで分校生は兄弟姉妹のようでした。地域の方や保護者の方々もいい人ばかりでいろんな行事にも手伝って協力してもらい大変お世話になりました。

分校には勉強と共に畑の野菜作りやお茶、炭焼き、焼き物、お茶の作法まで教えて頂いて、いろんな体験ができ、保護者も、もちつき、ミニバレー、旅行など一緒に参加が楽しく過ごさせてもらいました。分校にお世話になってよかったと心から思います。

今度は子供が卒業して違う形でお世話になり、分校生が私にとって皆自分の子のようにかわいく成長していくのが楽しみになりました。みんな素直で明るくていい子ばかりで私は子供たちやいい先生方に囲まれて幸せでした。

長い間に私が三里分校で子供たちと共に勉強やいい仕事をさせて頂いたと思っております。歌や踊り、発表の練習、一生懸命頑張っている姿にはいつも感動します。やればできる、そして人との思いやりの関係も子供たちは学校で身につけていたと思います。

でも時代の流れには逆らえないです。子供たちも少なくなり終わりがいつかは来ると思っていました。

さみしいですが、人生の中に忘れられない、いい思い出として三里分校に感謝します。

長いことお世話になりありがとうございました。

皆さんとの出会いに感謝

平成十九年度〜平成二十一年度 白仁田和世

春は薄桃色の桜、夏は緑鮮やかな杉木立、秋は紅葉、冬は純白の雪。三里分校の季節は、彩り豊かに移り変わります。四季折々の美しさを感じながら、また、地域の方々の温かいご支援をいただきながら、三里分校の子ども達は素直な心を育み、伸び伸びと成長してきました。

私は三年間三里分校にお世話になりました。その間、十一人の子どもの出会いはありました。みんなをホッとさせてくれるほっこりとした温かさを持った中溝英樹さん、お茶目で元気いっぱい、活動的な永石美里さん、ユーモアがあつて繊細な感覚の持ち主の池田聖さん、料理を手際よく作り、笑い声でみんなを明るくしてくれる野田清歌さん、元気のいい人に對して「大丈夫？」と心配してくれる心優しい田嶋大聖さん、聡明で何事も器用にこなし、面倒見のいい野田美都葵さん、明るく素直で誰とでも仲よくなれる小淵美佳さん、感受性豊かで涙もろく、辛くても最後までがんばる田嶋綾乃さん、何事も熱心にやりとげ、物事を冷静にとらえることができる樋口采音さん、物知りで好奇心おう盛、ダジャレが得意な荒木拓也さん、無邪気で天真爛漫、運動が得意な荒木旭人さん。一〜三年間と過ごした期間は違いますが、みんなやる気に満ちた、きらきら輝く瞳を持った素晴らしい子ども達でした。そんな子ども達と、わらび採り、潮干狩り、たけのこ掘り、そうめん流し、炭焼き、そば作り、畑仕事、学習発表会、ふるさと会と、三里分校ならではの創造的な活動ができて、毎日がとても充実していました。

また、保護者の皆様、ご家族の皆様と素敵な出会いができて幸せでした。いつも私達を応援していただいたことに感謝申し上げます。そして、地域の皆様には並々ならぬご支援をいただきました。中でも、荒木睿さんには子ども達や私達職員に、いつもおいしいおやつを沢山届けていただきました。お礼申し上げます。最後に、分校の前田さん、北原先生、森山先生、力の足りない私を支えていただき、ありがとうございました。皆さんとの出会いに感謝します。

思い出の手紙Ⅱ

分校卒業生から



- 松瀬 地圓夫
- 池田 憲一郎
- 石原 加代子
- 新宮 芳行
- 赤木 久美子

三里分校の思い出

昭和四十年入学 松瀬 地図夫

私が入学した当日は、三里分校の桜が満開ですごく感動したことを覚えていますが。

思い出として記憶にあるのは、何といっても冬ですね。雪が家の軒下まで積つたのが一九六八年小学校三年生の時です。この年は学校を五日程休んだ記憶があります。道路の雪かきをして、学校へ通えるようになったのが、五日後でした。

分校には給食のおばさんがおられて、冬にはモチフライを食べさせてもらったのが、凄くうれしくて毎年その味を確かめるかのように、モチフライを食べています。

教室には「だるまストーブ」があつて、朝は当番係がいて石炭で暖をとっていました。お昼の弁当は「だるまストーブ」の周りで温めていました。三年生から給食に変わったと思つていません。

四年生の春休みには牟田出身の西村公博先生が四年生の男子を自宅の近くの海に連れて行き手長タコ取りを体験、穴を見つけて片方から手を入れ素手で捕まえる方法でした。

また、野上出身の廣口ツギエ先生は自宅のみかん園でミカンちぎりの体験をさせてもらいました。ミカンの木がとても大きな木に見え、ジャングルジムに登る感覚でもあり、初めてミカンをはサミでちぎる事を教えてもらったのでした。貴重なミカンを食べたのも最高に幸せな気分でした。

分校で学んだ貴重な体験は、大人になった今でも生き続けていることに感謝致します。

三里分校の思い出

昭和二十九年入学 池田 憲一郎

自分達の三里分校では、五島列島からの開拓者達で風配に十軒以上の人たちが来られ、同級生十八人と、二年、三年、四年生で五十人以上の学生がいました。勉強は、はと、まめ、たろう、はなこから始まりました。弁当は麦、芋に米が少し入りおかずは梅干し、さば、しょうが漬けなどです。五島さん達の弁当はカンコロモチ、薪の暖炉で弁当を温めたりして、弁当の間は楽しかったです。先生は陣内先生、平坂先生で、陣ノ内、栄町から歩いて来られていました。池田先生、馬場先生、また、木原先生夫妻は三里分校に泊られていました。

農家の方は、牛で田んぼを耕し、芋ほりは牛にスキをつけ掘り起こされ、米六十キロの俵を馬車に乗せて農協まで運んでいました。馬車しか通らない位の道だったのが、今では、道路幅も広くなり、車で田んぼ、ミカン畑まで楽に通れるようになりました。三里分校にテレビが付いた時は、学校から家まで寄り道をせず真つすぐ帰り、晚ごはんを急いで食べ、七時三十分ハリマオ、八時プロレス、白馬童子などを見にかけつけていました。

三里分校も今では児童が三人となり閉校になってしまいました。百三十四年の三里分校も終わってしまうことになりました。寂しい事ですね。今から先も三里分校があつただけは忘れないように分校を卒業された方々は思い出して下さい。

閉校に寄せて

昭和四十五年入学 石原 加代子

十一月十八日、父より突然三里分校の閉校の知らせの電話をもらいました。驚くと共に寂しい思いが込み上げて来ました。

早速、太良町のホームページを調べ、三里分校を開いてみました。昔の写真が掲載されていて、自分の写った写真を見つけた時は、懐かしさで胸が熱くなりました。と共に、昔を思い出しました。

私の母校は、同じ教室で二学年と一緒に勉学を共にする複式授業でした。いつもは同級生七人の授業。でも、時には本校へ行き四十人位の生徒と一緒に授業を受け、緊張の中、大勢の前で本読みをしたり、運動会前にはダンスを覚えて帰り、分校で練習したり、修学旅行では、マイクを持って歌ったり、いつもと違う体験をしました。二年の時、札幌オリンピックが開催され、分校生徒全員で日の丸飛行隊のスキージャンプを観戦して盛り上がった事を覚えています。

太良の地を離れ三十五年、何度か三里分校を訪れた事があります。窓枠が木からサッシに変わっていたり、建物が増えていたり、玄関横の池がなくなっていたり、行く度に変化していました。娘が三歳の時、すべり台やブランコで遊んだ事を二十六歳になった今でも覚えていて、嬉しそうに話してくれず。親子で共有するなんて、とても幸せな事です。今となっては、大自然の中でのびのびと過ごした四年間は、私にとっての永遠の宝物です。最後に、担任だった廣口先生、山田先生、ありがとうございました。

分校の思い出

昭和三十一年入学 新宮 芳行

分校に入学したのは昭和三十一年、同級生は男子九人、女子六人だったと思います。当時、先生たちは波瀬ノ浦でバスを降りて山道を四、五十分歩いて学校まで来られていました。今思えば大変だったろうと思います。

私の中では、分校で勉強をした思い出はありません。当時の思い出は、正月の一月一日、学校に行つて紅白のお饅頭をもらうのが楽しみでした。その時は、親に買ってもらった一張羅を着て分校まで行ったものです。その日は、君が代を歌って、板ノ坂の黒田さんがお話しをされたのを覚えています。今思えば、修身だったろうと思います。

私が三年生の頃に、分校にテレビが入りました。当時テレビは珍しく、分校まで兄弟そろって夜、見に行き親に叱られたものでした。今では考えられないことですね。

時の流れは早いもので、私が分校に入学して六十年近くになりますが、戦後のベビーブームで六十名近くいた生徒数も最近では三名となりました。閉校は、大変残念ですが致し方ありません。長い間お世話いただいた先生方、関係者の皆様には心より感謝と御礼を申し上げます。

三里分校の思い出

昭和三十九年入学 赤木 久美子

「三里分校の閉校が決定した。」と聞いた時は、「ついに、きたか。」という思いで、つい目を閉じてしまいました。

私の学校生活の第一歩が、三里分校でした。入学した頃の校舎は、木造の平屋でしたが大きくてステキでした。まわりには、花壇や畑があり、いつも花が咲き、野菜が実っていたように思われます。みんなで世話をしておりました。校庭には、桜の木が植えてあり、大きな桜の木の下では、写真を撮ったり、弁当を食べたりしておりました。生徒も四十人近くいたので、ようか学年別に担任の先生がおられ、教室も別でした。私の学年は、男四人、女四人の八人でした。仲良しでしたが、男対女でけんかもしておりました。

冬になると、毎年、数回は雪が積もり、休校になったりひざまで雪に埋もれ、上級生に手を引かれ登校していたこと、教室の中に、大きな石炭ストーブがあり、それを囲んで勉強したり、もちや、いもを焼いて食べていたことを思い出します。本校と違い、夏休みが二週間短く、冬休みが一週間長かったです。

先生方の名前も、峰松先生、古賀先生、菊池先生と次々に出てきます。特に、記憶に残っているのが、廣口先生と、西村先生です。

野上から来られていた廣口先生には、親子二代にわたってお世話になりました。御手水の道路工事がある数ヶ月間、御手水まで車で送ってもらわれ、私たちと一緒に分校まで歩いて行ってくれました。毎朝、先生の温かい手とつながるのが競争

のようになっており、話をしながら歩くのが、とても楽しかったです。

牟田から来られていた西村先生は、四年生の夏休みになると、自宅に子ども達を泊めて、海での体験をさせて下さいました。奥様にも、食事の世話等お世話になりました。みんなで食べた、カレーライスおいしかったです。分校の生徒は、四年生の夏休みがくるのをとても楽しみにしていました。

私事ではありますが、西村先生の息子さんと、主人が同級生で、子供も、同級生がおり、今でも交流があります。これも、何か、不思議な縁だと感謝しております。

廣口先生が亡くなられた通夜の席で、遺族の方が、「母は三里分校の事をなつかしく話しておりました。」「大好きな桜の木の下での記念写真を、いつも枕元に飾っておりました。」「と話された時は胸があつくりました。

この記念誌の原稿の依頼を受け書き始めると、五十年近くも前の事が走馬灯のように思い出され、閉校という事に涙がこぼれました。少子化、時の流れには、逆らえません。大切な友だちとの出会いの場。大切な時間をすごした場所。今まで、ありがとうという気持ちで受け止めたいと思います。



思い出の手紙Ⅲ

小・中・高校生から



池田 佳奈枝
中溝 英樹
永石 美里
池田 清聖
野田 大聖
野田 美都
小淵 美佳
樋口 采音
田嶋 彩乃
荒木 拓也
荒木 旭人
田嶋 心葉
新宮 萌花
堤 太陽
新宮 歩武

分校での思い出

高校三年 池田 佳奈枝

分校で過ごした日々は、忘れられない思い出ばかりです。みんなでおにごっこしたり、かくれんぼしたり、いっぱい遊びました。わくわく農園で野菜も育てました。人数は少なかったけれど、楽しかったことばかりだったし、本校に負けないくらい、とてもいい学校です。三里分校で、四年間過ごせて本当に良かったです。

思い出

高校一年 永石 美里

分校は、少人数だったので先生達は一人一人をよく見てくださっていました。勉強で分からないところをきくと、わかるまで生徒のペースにあわせて教えてくださいました。休み時間も生徒と一緒に遊んだりして楽しかったです。野菜作りでは、みんな協力してたくさん種類の育てました。収穫した物で料理を作ったりもしました。行事も分校ならではのものがあ、地域の方との交流もたくさんありました。自然にふれあう場面もたくさんあり、いろいろな体験をすることができました。

三里分校での思い出

高校一年 中溝 英樹

僕は、三里分校に通学している時は、通う道が遠く感じました。なぜなら、入学して通い初めは、家族に送ってもらいましたが、歩き始めてからは、遠かったものがだんだん遠く感じなくなりました。そして、三里分校でマラソンがありました。そのマラソンは、スゴロクのようになっていて、一回走ったらシールを一枚ずつはっていきました。それがゴールまで行くと先生が分校のみんなをつれていってくれました。それが、嬉しくもありましたし、先生には一番感謝をしています。三里分校には四年間ではなく六年間ずっと通い続けたいと思いました。

三里分校の思い出

中学三年 池田 聖

私は、三里分校に四年間通学させて頂き、本校の多良小学校に通っていたら体験できなかったことを、分校でいろいろと体験させてもらいました。

私が分校にいた時は、全員で七人しかなくて、でも、少ない分いろいろなことができました。筍ほりや炭作り、トマト、かぼちゃ、スイカなどたくさん野菜を育てみんなで食べたり、冬は学校で、大根などでおでんを作って食べたりしました。登下校では、蛇や犬などに会って驚いたり、とても楽しい毎日を送っていました。

三里分校の思い出

中学三年 野田 清歌

私は、三里分校で色々な事を学びました。畑でたくさん野菜を育てたり、炭作り、そば打ち、他の学校ではできないような事を経験しました。自分達で育てた野菜を使って料理をしたりして、食べたりしました。苦労して作った野菜はとってもおいしかったです。

三里分校は、少ない人数だったけど楽しく過ごせました。先生たちもおもしろくて鮮やかに授業ができました。三里分校でみんなと過ごせてよかったです。分校で学んだ事は、これからの生活でいかしていきたいです。

三里分校での思い出

中学一年 野田 美都葵

私は、四年間三里分校で過ごしてきて、本当に楽しく、今思えばとても貴重な時間でした。

最初は、同級生の友達もいなくて本校に行く時もまだ知らない人ばかりでイヤでした。でも、分校では、普段学べないようなことを学び本校よりもいろいろ体験することが多かったと思います。野菜づくりや炭づくり、竹細工、そば打ちなど本当に楽しい体験をさせてもらいました。

一年生のころは、白仁田先生が担任の先生で、一番大好きな先生でした。白仁田先生のおかげもあり、本校ではたくさん友達ができ、毎日が楽しかったです。

分校がこれで終わりになるのはさみしいけど、分校で過ごした時間は忘れません。本当にありがとうございました。

楽しかった分校生活

中学二年 田嶋 大聖

僕が入学して来て初めての奉仕作業があつて最初どういものか分からなかったけど先生の話を聞いた時、奉仕というものは、きれいにすることだと言うことが分かりました。そして、運動場に行き、よく見てみると草などがたくさん生えていて、大変そうだなあと思いました。でも、本校の先生や親の人たちが一生懸命頑張ってくださいだったので、僕も頑張ろうという気持ちになりました。終わって見わたしてみるととてもきれいになっていました。その時、とても、いい気持ちになりました。分校は、閉校になるけど僕の中では最高の日々でした。



三里分校の思い出

小学六年 小 瀨 美 佳

私にとって三里分校の思い出は、最高の宝物です。その中で、本校とちがっていいことを書きます。一つ目は、農園で、食べ物を育てて、収穫し、時どき前田さんが調理してくださいます。二つ目は、前田さんがお腹がいたい時にお茶を出して下さいたり、夏に農作業を終えたら、シャーベットを作ってくださいたりしたことなどです。本当に前田さんには、お世話になりました。三つ目は、学習発表会やふるさと会があることです。学習発表会は家族の人に見てもらい、ふるさと会は地いきの人に私達の事を知ってもらう会です。この思い出は忘れません。

三里分校で良かったこと

小学六年 樋 口 采 音

私は、三里分校で三年間過ごしました。本校より人数が少なかったけど、その分、いろんな体験が出来ました。三年間の中で一番楽しかったのは、体育の時間です。一年生から四年生まで一緒にしました。本校では人数が多くて、とび箱など何回も出来ません。でもそれが分校では出来ます。みんなで教え合いながら、出来ることが増えました。

そして、あまり好きではなかった畑仕事も上級生が、がんばっているのを見て私もがんばろうと思えました。三里分校に通うことができて良かったです。

思い出たくさんの三里分校

小学六年 田 嶋 彩 乃

私は、四年間を三里分校で過ごしました。この四年間で一番思い出に残ったのは、学習発表会です。授業で習ったことを発表する会です。その中でも、四年生のときにした一輪車の発表のとき、まず一輪車に乗ることから始まり学習発表会のときには、全員が乗れるようになっていく皆さんの技もできるようになっていきました。そして、当日も一輪車は成功することができました。こんなに、楽しく思い出がたくさんの三里分校が閉校になるのは、さびしいけどこの四年間楽しく過ごせて、思い出もたくさんできたのでよかったです。

分校の思い出

小学五年 荒 木 拓 也

一年生から四年生までお世話になった分校では、いろんな事を勉強しいろいろなことを体験しました。学習発表会で学んだことを発表したり、わらびとり、竹の子ほり、緑の少年団などの野外活動で、自然とふれあうことの楽しさを学んだり、いろんな体験をして、分校を卒業しました。また、いい先生がたとめぐり会えて、これも力となりました。

最後に、分校は、長年の歴史が積み重なってできているけど、もう閉校してしまうから、ちょっとさびしいですが分校はぼくの心の中にずっと残っています。今までありがとう。

大切な思い出

小学五年 荒 木 旭 人

ぼくは、三里分校でたくさんさんの思い出ができました。そうめん流しや学習発表会もちつき大会やわらびとり竹の子ほり、分校旅行、みどりの少年団など楽しい行事がありました。ぼくはその中でも、そうめん流しが楽しかったです。自分達で山に行き竹を切り、その竹をきれいにしてお父さんやお母さん達や先生方といっしょに、そうめんを流し、みんなで食べておいしかったです。

また、三里分校では、すてきで、楽しく明るい先生にも出会えてとても良い生活ができました。ぼくは、分校がなくならないでほしかったです。

四年間の思い出

小学四年 田 嶋 心 葉

私のこの四年間で楽しかった思い出は、たけのこほりです。たけのこほりは、徳永さんの竹林でした。むずかしかったことは、たけのこをほる時です。ほる向きや、と中折らないようにするのが大変でした。たけのこがとれた時は、とてもうれしかったです。なぜなら、私はたけのこが大好きだからです。シャキシャキした食感が味を一段とおいしくしてくれました。私は、分校で元気にすごし、楽しく勉強ができたので良かったです。来年本校に行きますが、本校でも五年生として友達と楽しくすごし、三里分校で学んだことを発ぎしたいです。

三年間すごした分校

小学三年 新 宮 萌 花

私は分校で三年間すごしました。その中で思い出にのこったのは、私の入学式です。「頭に花をかざって。」と言われたけど、「イヤッ。」と言ってことわりました。私は、分校に入学する時心配な事がありました。それは、ヤギがいると保育園で聞いたからです。私は、動物が苦手で、「えっこわいよ。」と心の中でさげびました。でも、どこを見てもヤギはいませんでした。ほっとしました。それから、分校でちらしずしを食べました。おいしかったのが心にのこっています。分校は、三月でへい校になるけど、この三里分校で学んだことはわすれません。

分校の思い出

小学二年 堤 太 陽

ぼくの分校の思い出は、サクランボをたべたことです。サクランボは、とってもあまくて、だれでもおいしいといひそうなおいしさでした。サクランボの木は、三里分校の運動場にありす。

行じて一番楽しかったことは、そうめんがしです。竹を半分に切ったものでしました。そうめんはとりにつかっただけどもかんはとりやすくてよかったです。

ぼくにとって三里分校はたからものです。三里分校がなくなってもたからものからは、なくなりません。

たのしかったぶんこう

小学一年 新宮 歩武

ぼくは、三りぶんこうで一ねんかんすごしました。その中でたのしかったことが二つあります。
一つめは、なつのほうしきぎょうのあとの、そうめんがしです。そうめんをすくってたべるのがたのしかったです。はたらいたあとにたべたそうめんは、おいしかったです。二つめは、おはぎづくりです。ごはんをあんこでまるめるところが、むずかしかったです。ふるさとかいで、おじいちゃんおばあちやんたちにたべてもらいました。
ぼくは、ぶんこうでべんきょうできて、たのしかったです。

三里分校資料



【参考資料】

- 多良小学校三里分校沿革史
- 多良小学校沿革史
- 太良町誌



太良町立多良小学校三里分校 沿革

明治		昭和	
13	糸岐小学校の分校として、廃寺であった「西方院」に、三里・板の坂・嘉瀬の坂・御手水を学区とした教場が創立される。(糸岐村議事録による)	50	大雪のため臨時休校。 へき地巡回指導(音楽)を受ける。 教室・廊下の壁の塗り替え工事。 佐賀国体の見学(町営球場)
25	多良小学校と糸岐小学校が合併。糸岐小学校の校舎を移転し、多良小学校三里分教場とした。	51	へき地巡回指導(算数科)を受ける。
36	三里分教場が独立、三里尋常小学校となる。 校舎が板ノ坂に移る。(藁葺き校舎)	52	窓がアルミサッシに替わる。飲料水工事(滅菌装置)
38	中尾分教場を廃止し、三里尋常小学校に統合される。	53	地区小さな学校研究会 研究会の開催。(指定研究校)
39	中尾分教場が復旧され、金目、大野、中尾区が分離する。	54	校舎南側壁板修理
40	三里尋常小学校を廃止し、多良小学校三里分教場となる。	55	へき地巡回指導を受ける。 警察音楽隊の吹奏楽演奏会参加(中尾分校へ参加)
41	多良農業補習学校分教場併設される。 校舎屋根が修繕される。	56	座敷の畳替え NHK一日放送へ参加(浜田さん)
8	多良農業補習学校分教場廃止される。	57	中山分校廃校となる。(明治13年創設)
9	多良農業補習学校分教場廃止される。	58	本校での入学式に初めて参加する。 はんとろ棒移設(中山分校から)
15	多良農業補習学校分教場廃止される。	59	水道滅菌施設設置。 水源池修理工事
16	多良農業補習学校分教場廃止される。 小学校は、国民学校と改称される。 義務教育8ヶ年となる。初等科6年、高等科2年となる。 敗戦による教育制度の修正が行われる。 複式2学級編制となり、教室増築される。 分教場に教員宿舎1棟新築。	60	地区小さな学校研究会 総会開催 へき地学校巡回訪問(県教委) 三里地区5部落でのソフトボール大会開催 鉄棒・タイヤのペンキ塗り作業
20	分教場に教員宿舎1棟新築。 三里分教場を移転し、新築落成。(鍋島知事臨席)	61	三里分校問題検討委員会(三里分校存続の件) 校舎を解体し、現在地に新校舎落成。 大雪のため休校(45cm積雪)
24	分教場に教員宿舎1棟新築。 三里分教場を移転し、新築落成。(鍋島知事臨席)	62	教員宿舎解体、「みどりの家」の落成式を行う。 植樹移転、排水溝、花壇新設工事。
26	三里分教場を移転し、新築落成。(鍋島知事臨席)	63	コピー機設置 三里・中尾分校 合同水泳大会(温水プール)
27	運動場の拡張が行われる。 郡小さな学校研究会 指定研究校となる。	64	分校研究会(中尾分校へ参加) 板の坂く分校間 町水道施設が完成する。
28	三里分教場を三里分校と改称する。 三里分校区、中尾分校区に電気が導入される。	65	九州へき地教育研究大会(佐賀大会) 課題別分科会発表(高橋)
29	運動場の拡張、ブランコ・滑り台・倉庫が建設される。 学級増加(3学級編成)	66	九州へき地教育研究大会 記念碑建立 九州へき地教育研究大会 記念碑建立
30	運動場の拡張、ブランコ・滑り台・倉庫が建設される。 学級増加(3学級編成)	67	中尾分校との合同学習(春遠足・茶摘み・集会発表等)
31	分校区婦人会より、桜・杉の苗木、寄贈される。 運動場に砂場設置。	68	稲刈り(朝日新聞社からの取材を受ける)
32	分校区婦人会より、桜・杉の苗木、寄贈される。 運動場に砂場設置。	69	映画鑑賞会「次郎物語」 みどりの家の天井板張り替え工事
33	簡易水道施設完成。(自家水道) 三里分校にテレビが設置される。 校舎の修理を行う。(屋根瓦総替)	70	県教委・町教委嘱 学習指導法開発研究実践発表(国語科・算数科)
34	校舎の修理を行う。(屋根瓦総替)	71	一輪車配備(4台)
35	校舎板かべの張替え、排水溝、焼却場、観察池できる。 運動場に金網が取付けられる。	72	中尾分校との合同キャンプ(中山にて)
36	運動場に金網が取付けられる。 郡小さな学校研究会を開催する。(複式カリキュラムの研究)	73	九州へき地教育研究大会(沖縄大会) 発表(小柳)
37	玄関前、庭園完成。(各地区より庭木が寄贈される) 粉乳給食開始。 用務員の雇用開始。 教員宿舎解体される。	74	天皇崩御
38	粉乳給食開始。 用務員の雇用開始。 教員宿舎解体される。	75	花壇修理(育友会作業)
39	教員宿舎解体される。 水源池修理、校庭金網修理。教室に新ストーブ設置。 伊福分校廃校となる。(明治7年4月 創設)	76	大雨のため臨時休校
40	水源池修理、校庭金網修理。教室に新ストーブ設置。 伊福分校廃校となる。(明治7年4月 創設)	77	分校業務員交代(新宮さん・池田さんへ)
41	運動場にジャングジム設置。 三里分校区 水泳練習会。	78	本校集会「おしゃべりな玉子焼き」で参加
42	三里分校区 水泳練習会。	79	陶芸教室開催(塩田町 青木先生)
43	豪雪のため休校(山間部1メートル以上積雪)PTAによる除雪作業が行われる。 ブランコ、鉄棒の新設(入替)。 分校完全給食開始。	80	へき地学校巡回訪問(県教委)
44	運動場に雲梯設置。花壇完成。 校庭金網新設、屋根改修。	81	分校奉仕作業
45	校庭金網新設、屋根改修。	82	台風被害(校舎屋根・みどりの家)
46	池の修理及び宿舎と校舎間土間完成。 台風9号の影響甚大。(煙突・屋根瓦等破損、児童宅も被害多し)	83	「へき地教育」研究指定を受ける。(H4~H5)(文部省・県教委・町教委)
47	へき地指定の見直し。(1級へき地) 分校前の道路が舗装される。 放送設備が取り付けられる。	84	分校奉仕作業(鶏小屋、山羊小屋、池づくり)
48	へき地級指定(1級地継続) 評議員によるツツジ園作成。 職員宿舎工事	85	三里・中尾交流学習
49	職員宿舎工事 消火器取り付け。	86	学校キャンプ(PTA主催) 餅つき会、学習発表会(3回)

太良町立多良小学校三里分校 沿革

平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平成	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	<p>分校奉仕作業（山羊小屋作り、垣根作り） 文部省・県・町教委委嘱「へき地教育」研究発表会（少人数複式学級における生活科・理科の学習） （兼）九州へき地教育研究大会（佐賀大会） へき地学校巡回訪問（県教委・事務所） 県植樹祭参加 佐賀テレビ取材 分校奉仕作業（除草等） 佐賀新聞記事掲載（三里分校紹介と山羊の飼育） 中尾分校との合同学習会・春日分校との交流会 焼き物体験（青木先生を迎えて） ふるさと会（年2回） 親子キャンプ（中山キャンプ場） 分校奉仕作業（一輪車置場、農具置場） みどりの少年団・県植樹祭・地区交流会参加 菊作り学習会（西村先生を迎えて） 中尾分校との交流学習 吉田小春日分校での夏の交流キャンプ 分校奉仕作業 分校付近で山火事（児童通報手柄） 三里・中尾・春日交流学習 焼き物体験（青木先生を迎えて） 世界炎の博覧会見学 チャイム取替工事 学習発表会 分校奉仕作業（遊具補修、剪定等） お茶釜作りやお茶会体験学習</p>	<p>分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、花壇作り等） 県植樹祭参加（背振村へ） 教室、職員室壁の補修工事 三里地区老人会との交流（植樹活動、空き缶拾い等） 御手水地区的射り行事に参加（新聞社取材）</p>	<p>パソコン設置（4台） 分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、運動場除草等） 全国育樹祭参加（嬉野）【皇太子、皇太子妃ご臨席】、県植樹祭（有田町）（健康の森） へき地・辺地巡回訪問（県教委から） 佐賀テレビより分校取材・放映 御手水地区的射り行事に参加 分校奉仕作業（ペンキ塗り、除草）、三里老人会（除草） 渡り廊下設置工事 学力向上フロンティア事業 公開授業研究会 地区小さな学校総会（みどりの家） 県植樹祭参加（東与賀町干潟公園） 緑の探検学習会発表 優秀賞受賞 分校奉仕作業（樹木剪定、除草、ゴミ拾い） 自動警備設備設置 三里分校・金立養護学校交流会 分校奉仕作業（除草・剪定等） 三里分校キャンプ（長崎へ） 三里分校・金立養護学校交流会 分校奉仕作業（樹木剪定、農園草刈り、遊具ペンキ塗り） へき地巡回視察（教職員課） 台風被害（音楽室屋根） 多良小 日本PTA表彰 御手水地区的射り行事に参加 分校奉仕作業（水路整備、除草等） 「へき地・辺地」巡回訪問（県教委・事務所） 炭焼き体験</p>	<p>分校奉仕作業（遊具ペンキ塗り、除草等） そば打ち体験（中尾分校と合同）、干し柿、炭焼き体験、餅つき体験 へき地・辺地巡回訪問 フッ素洗口開始 中尾分校閉校（明治32年創立） 分校奉仕作業（除草、農園耕し等） 御手水地区的射り行事に参加 筍掘り、潮干狩り、蕎麦うち体験 緑の探検学習会（於…北山…最優秀賞） みどりの家 天井改修 分校奉仕作業（農園耕し、除草等） 筍掘り、潮干狩り、コンニャク作り体験、餅つき会 三里みどりの少年団全国大会参加 優良賞受賞（青森県開催） 分校奉仕作業（除草・剪定等） 分校の生活（佐賀テレビ取材） 「へき地・辺地」巡回訪問（県教委・事務所） こちらコンサート開催 教室に扇風機設置 小さな学校授業研究会 開催 分校奉仕作業（除草・剪定） 筍掘り、潮干狩り、竹細工体験、分校餅つき会 文科省委託・県教委指定 人権教育総合推進地域事業研究発表会 分校奉仕作業（除草・剪定） 地区教育研究会 小さな学校総会（みどりの家） 筍掘り、潮干狩り、餅つき会等の体験活動 三里みどりの少年団 県交流会での発表（優秀賞受賞） 閉校式・記念碑除幕式・お別れ会（平成26年3月23日） 三里分校閉校（平成26年3月31日）</p>	<p>分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、花壇作り等） 県植樹祭参加（背振村へ） 教室、職員室壁の補修工事 三里地区老人会との交流（植樹活動、空き缶拾い等） 御手水地区的射り行事に参加（新聞社取材）</p>	<p>中尾分校との交流キャンプ・学習会 菊作り学習会（西村先生を迎えて） 焼き物体験（青木先生を迎えて） 学校給食研究発表会（県教委・町教委 委嘱） シイタケ原木づくり（黒池さん指導） 「みどりスイミー探検隊」優秀賞受賞 「ふるさと」さが「探検隊」優秀賞受賞 分校奉仕作業（除草剪定等） お茶作り体験 春日・三里・中尾分校交流会参加（中尾分校） 焼き物体験（青木先生を迎えて） 多良小「学校給食」文部大臣表彰 分校奉仕作業（運動場への土入れ） みどりの少年団 全国大会（和歌山県）、県植樹祭（基山）参加 春日・三里・中尾分校交流会参加（春日分校） 菊作り学習会（西村先生を迎えて） 地区小さな学校授業研究会 焼き物体験（青木先生を迎えて） 奉仕作業（遊具ペンキ、樹木剪定等） 茶摘み、漬け物体験 三里分校インターネット稼働開始 新しいピアノ設置される。 みどりの少年団 太良町植樹祭（大浦ダム周辺）、県植樹祭（芦刈町）参加 参加</p>	<p>分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、花壇作り等） 県植樹祭参加（背振村へ） 教室、職員室壁の補修工事 三里地区老人会との交流（植樹活動、空き缶拾い等） 御手水地区的射り行事に参加（新聞社取材）</p>	<p>分校奉仕作業（遊具補修、剪定等） お茶釜作りやお茶会体験学習</p>	<p>分校奉仕作業（除草剪定等） お茶作り体験 春日・三里・中尾分校交流会参加（中尾分校） 焼き物体験（青木先生を迎えて） 多良小「学校給食」文部大臣表彰 分校奉仕作業（運動場への土入れ） みどりの少年団 全国大会（和歌山県）、県植樹祭（基山）参加 春日・三里・中尾分校交流会参加（春日分校） 菊作り学習会（西村先生を迎えて） 地区小さな学校授業研究会 焼き物体験（青木先生を迎えて） 奉仕作業（遊具ペンキ、樹木剪定等） 茶摘み、漬け物体験 三里分校インターネット稼働開始 新しいピアノ設置される。 みどりの少年団 太良町植樹祭（大浦ダム周辺）、県植樹祭（芦刈町）参加 参加</p>	<p>分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、花壇作り等） 県植樹祭参加（背振村へ） 教室、職員室壁の補修工事 三里地区老人会との交流（植樹活動、空き缶拾い等） 御手水地区的射り行事に参加（新聞社取材）</p>	<p>パソコン設置（4台） 分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、運動場除草等） 全国育樹祭参加（嬉野）【皇太子、皇太子妃ご臨席】、県植樹祭（有田町）（健康の森） へき地・辺地巡回訪問（県教委から） 佐賀テレビより分校取材・放映 御手水地区的射り行事に参加 分校奉仕作業（ペンキ塗り、除草）、三里老人会（除草） 渡り廊下設置工事 学力向上フロンティア事業 公開授業研究会 地区小さな学校総会（みどりの家） 県植樹祭参加（東与賀町干潟公園） 緑の探検学習会発表 優秀賞受賞 分校奉仕作業（樹木剪定、除草、ゴミ拾い） 自動警備設備設置 三里分校・金立養護学校交流会 分校奉仕作業（除草・剪定等） 三里分校キャンプ（長崎へ） 三里分校・金立養護学校交流会 分校奉仕作業（樹木剪定、農園草刈り、遊具ペンキ塗り） へき地巡回視察（教職員課） 台風被害（音楽室屋根） 多良小 日本PTA表彰 御手水地区的射り行事に参加 分校奉仕作業（水路整備、除草等） 「へき地・辺地」巡回訪問（県教委・事務所） 炭焼き体験</p>	<p>分校奉仕作業（遊具ペンキ塗り、除草等） そば打ち体験（中尾分校と合同）、干し柿、炭焼き体験、餅つき体験 へき地・辺地巡回訪問 フッ素洗口開始 中尾分校閉校（明治32年創立） 分校奉仕作業（除草、農園耕し等） 御手水地区的射り行事に参加 筍掘り、潮干狩り、蕎麦うち体験 緑の探検学習会（於…北山…最優秀賞） みどりの家 天井改修 分校奉仕作業（農園耕し、除草等） 筍掘り、潮干狩り、コンニャク作り体験、餅つき会 三里みどりの少年団全国大会参加 優良賞受賞（青森県開催） 分校奉仕作業（除草・剪定等） 分校の生活（佐賀テレビ取材） 「へき地・辺地」巡回訪問（県教委・事務所） こちらコンサート開催 教室に扇風機設置 小さな学校授業研究会 開催 分校奉仕作業（除草・剪定） 筍掘り、潮干狩り、竹細工体験、分校餅つき会 文科省委託・県教委指定 人権教育総合推進地域事業研究発表会 分校奉仕作業（除草・剪定） 地区教育研究会 小さな学校総会（みどりの家） 筍掘り、潮干狩り、餅つき会等の体験活動 三里みどりの少年団 県交流会での発表（優秀賞受賞） 閉校式・記念碑除幕式・お別れ会（平成26年3月23日） 三里分校閉校（平成26年3月31日）</p>	<p>分校奉仕作業（遊具補修、剪定等） お茶釜作りやお茶会体験学習</p>	<p>分校奉仕作業（除草剪定等） お茶作り体験 春日・三里・中尾分校交流会参加（中尾分校） 焼き物体験（青木先生を迎えて） 多良小「学校給食」文部大臣表彰 分校奉仕作業（運動場への土入れ） みどりの少年団 全国大会（和歌山県）、県植樹祭（基山）参加 春日・三里・中尾分校交流会参加（春日分校） 菊作り学習会（西村先生を迎えて） 地区小さな学校授業研究会 焼き物体験（青木先生を迎えて） 奉仕作業（遊具ペンキ、樹木剪定等） 茶摘み、漬け物体験 三里分校インターネット稼働開始 新しいピアノ設置される。 みどりの少年団 太良町植樹祭（大浦ダム周辺）、県植樹祭（芦刈町）参加 参加</p>	<p>分校奉仕作業（農園除草、樹木剪定、花壇作り等） 県植樹祭参加（背振村へ） 教室、職員室壁の補修工事 三里地区老人会との交流（植樹活動、空き缶拾い等） 御手水地区的射り行事に参加（新聞社取材）</p>							



平成26年3月吉日

閉校記念碑

閉校記念碑が三里分校校舎前に建立されました。
閉校実行委員会事業部の方々を中心に地域の皆様のお世話によって完成したものです。
三里分校は、昔から地域の力によって築かれてきた分校です。
この記念碑には、ここで学んだ子どもたちや地域の方々の万感の思いが込められています。

三里分校児童数推移並びに三里分校歴代職員（○数字は在任期間）

年	男	女	計	職員（在任期間）
明治13	・	・	25	木下要太郎①
21	・	・	・	喜多養吉郎②
22	・	・	・	木下要太郎⑨・喜多
23～30	・	・	・	木下
31～35	・	・	・	石橋平二⑧
36	19	28	47	石橋
37	22	26	48	佐藤千一郎②・石橋
38	22	19	41	佐藤・石橋
39	19	30	49	毎熊辰馬②・木下ツワ② 石島芳之助（校医）
40	40	40	80	光竹勇①・毎熊・木下
41～42	・	・	・	佐藤千一郎②
43～44	・	・	・	木原佐太郎⑥
大正元	・	・	・	木原
2	14	16	30	木原
3	17	21	38	木原
4	・	・	・	木原
5	・	・	・	久島訓導③・木下ツワ①
6	・	・	・	久島
7	・	・	・	久島・永淵ウエ①・中島大四郎②
8～12	・	・	・	中島
13	・	・	13	中島
14	・	・	・	中島
昭和元	・	・	・	中島
2～21	・	・	・	中島
22～23	・	・	・	新宮ナツ⑥
24	・	・	・	新宮・陣内誠①
25	・	・	・	新宮・藤山清博③
26	16	25	41	新宮・藤山
27	14	23	37	新宮・藤山
28	17	25	42	八並鵬①・新宮
29	14	16	30	陣内秀一②・平坂ユリ③
30	30	30	60	陣内・平坂
31	・	・	61	宮崎トミ③・早崎昌雄①・平坂
32	28	34	62	池田博康①・荒木正子②・宮崎
33	28	27	55	古賀昭夫②・荒木・宮崎
34	31	22	53	中町正時②・古賀
35	22	23	45	馬場（池田）エイ①・中町
36	18	29	47	木原茂幸②・木原ハル子②
37	18	32	50	木原・木原
38	17	26	43	植松保典①・高橋道定①
39	18	26	44	峰松英子①・岩松美津江① 山崎迪也①・竹下稔①
40	21	26	47	菊池武久①・古賀ツタ子① 倉崎紀正①
41	26	14	40	廣口ツギエ⑥・西村公博⑤ 宮崎トミ②
42	30	16	46	廣口・西村・宮崎

◎ 用務員（業務員）一覧

昭和 38	～	44	徳永リウ
昭和 45	～	55	永石キヲ
昭和 56	～	平2	新宮ハギエ

年	男	女	計	職員（在任期間）
43	29	14	43	廣口・西村
44	20	13	33	廣口・西村
45	19	13	32	廣口・西村
46	14	13	27	山田祐三郎④・廣口
47	14	14	28	松本久代⑧・山田
48	12	15	27	松本・山田
49	10	15	25	松本・山田
50	9	12	21	松本・中島俊一⑦
51	8	7	15	松本・中島
52	7	3	10	松本・中島
53	5	4	9	松本・中島
54	6	3	9	松本・中島
55	4	5	9	森田由美子④・中島
56	4	6	10	森田・中島
57	5	7	12	高橋道定④・森田
58	4	5	9	高橋・森田
59	4	5	9	高橋・石井みち子③
60	5	3	8	高橋・石井・白仁田敏子①
61	3	3	6	小柳政文③・石井
62	5	2	7	小柳・峰松三和子④
63	4	1	5	小柳・峰松
平成元	7	4	11	池田良治②・峰松・岩島良人①
2	6	5	11	池田・峰松
3	6	7	13	池田直人③・加藤隆弘②
4	5	8	13	池田・加藤
5	6	8	14	池田・中原真平③
6	5	8	13	押方富美子④・中原・岩島良人①
7	3	6	9	押方・中原
8	4	5	9	橋本幸雄④・押方
9	3	3	6	橋本・押方
10	3	5	8	橋本・高稲久美子③
11	3	4	7	橋本・高稲
12	2	6	8	高稲・益田信亮③
13	3	5	8	益田・佐藤直子③
14	2	4	6	益田・佐藤
15	3	4	7	佐藤・小崎直樹③
16	3	2	5	中里恵子③・小崎
17	3	3	6	中里・小崎
18	4	2	6	北原智大③・中里
19	3	3	6	北原・白仁田和世③
20	2	5	7	北原・白仁田
21	3	4	7	白仁田・森山茂③
22	1	5	6	中尾玲子③・森山
23	1	4	5	中尾・森山
24	1	2	3	筒井宏②・中尾
25	1	2	3	筒井・中原奈美①

※ 赴任時はフルネーム、2年目以降は姓のみ表示

※ 人数不明は、・表示をした。

平成 2	～	7	池田フヨ
平成 8	～	15	毎熊綾子
平成 16	～	25	前田友子

あとがき

太良町で、唯一存続していた三里分校。

百三十四年にわたる長い歴史の幕を閉じるにあたり、卒業生・地域の方々・先生方の思いが込められた記念誌を作成しました。

この記念誌は、三里分校の思い出を後世まで語り継ぐため、また、いつの日か分校の思い出を語り合うとき、この記念誌が記憶をよみがえらせる手がかりになればと編集されたものです。編集に当たって、ご寄稿や写真提供のご協力をいただきました皆様方へ心より感謝申し上げます。

地域の人々に見守られ、多くの人材を育んできた三里分校。豊かな大自然のこの場所に集まった人々の思いは、強い絆となり、これまでも、そしてこれからも途切れることはないでしょう。

平成二十六年三月吉日

三里分校閉校実行委員会
記念誌部会

浜崎 敏彦(教育委員長)
中原 稔(教育委員)
坂口 里美(PTA副会長)
國政幸二郎(指導主事)
池田憲一郎(三里区長)
野田 輝雄(三里区)
浜田 義弘(板ノ坂区)
前田 友子(御手水区)
新宮 正(嘉瀬ノ坂区)
北島 邦男(風配区長)
田中龍太郎(風配区)
筒井 宏(分校職員)
中原 奈美(分校職員)
坂元 千夏(太良町職員)

絆

三里分校の思い出
— 閉校記念誌 —

発行者: 三里分校閉校実行委員会 記念誌部会

発行所: 松浦印刷株式会社

発行日: 平成26年3月31日